

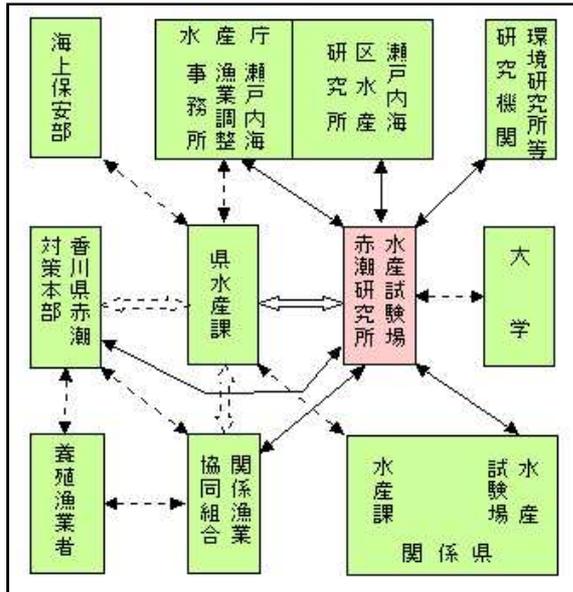
赤潮研究所

赤潮による漁業被害防止、軽減化を図るため、赤潮に関する調査研究及び漁業者への研修等を実施している。

Akashiwo Research Institute of Kagawa Prefecture

The aquaculture industry in Kagawa has suffered severely from red tides for many years. It is urgent that we protect this industry from such damage through steady investigation on the red tides phenomenon.

Also training programs on red tides have been regularly provided for persons involved with marine culture and the employees of fishery cooperatives.



赤潮情報の伝達・交換体制

赤潮の発生状況やプランクトン調査結果を電話やFAXで情報交換を行っています。



シャットネラ アンティーカ(大きさ約0.1mm)

ハマチ等の養殖魚類をへい死させる赤潮プランクトンです。過去にたびたび大被害を与えたことがあります。詳しくは[こちら](#)をご覧ください。



赤潮調査定点及び養殖漁場

赤潮の早期発生のために、養殖漁場周辺の調査を実施しています。■の点は定期調査をしている調査点です。◆の点は赤潮多発期に臨時に調査する調査点です。▲の点は魚類養殖漁場の調査を漁業協同組合等で調査している調査点です。



漁業者を対象とした赤潮研修会

毎年、赤潮が発生する前に漁業者や漁協の職員さんに赤潮プランクトンの研修会を開催しています。



海洋観測

定期的に船で調査に行きます。表面の海水だけでなく、採水器を使用して深い水深の海水も採取します。採水した海水は研究所に持ち帰り、溶存酸素量や栄養塩等の分析、プランクトンの計数作業をします。



赤潮プランクトンの計数

海水1ml中のプランクトンの数を顕微鏡を使って計数します。計数結果は関係機関にFAX等で伝達されます。



海水の栄養塩類の分析

海水中の窒素やリン等の栄養塩類の濃度を分析します。栄養塩類の濃度は赤潮発生に深い関係があります。

[赤潮研のトップに戻る](#)